

とよなか
クリエイティブ・
ガーデン

アーティストのスタジオを訪ねて

いのち育お慈しみのアート

2018年 12月16日(日) 14:00~16:00

Hirokazu Moriguchi Warehouse

我が国におけるホスピタルアート(*)の先駆者であり、教育者でもある美術家・森口ゆたかのスタジオを訪ねる、小学生と保護者のための新企画。
アーティストの創造の源泉に直(じか)に触れるとともに、子どもたちの創造性と温かな思いやりの心を育み、
大人にとっては親子と一緒に成長することを願う語らいの場となる、心豊かにうろおされる日曜の午後のひととき...

ファシリテーター：森口 ゆたか (美術家 / 近畿大学教授)

協力：近畿大学 文芸学部 文化デザイン学科 有志学生
(子ども造形ワークショップ・ナビゲーター)

会場：ヒロカズ モリグチ ウェアハウス (豊中市寺内1-8-28)
定員：小学生と保護者 24人

(保護者同伴でご参加ください。往復はがき1通につき、3人までお申込み
いただけます。お申込みの詳細は、裏面をご参照ください。)



Expectation 一希望の芽—
作:Yuko Takada Keller
(耳原総合病院:ふれあいエントランス)



見守りの樹
(耳原総合病院:手術室ホール)

※ホスピタルアートとは

病院などの医療現場で、患者やその家族、現場に関わるあらゆる人たちが、芸術活動に触れることによって、精神的、身体的に癒される空間づくりをめざすアート活動。
森口ゆたかが2004年に岩尾啓子と共に設立した“NPO法人 アーツプロジェクト”では、ホスピタルアートの具体的な展開において、絵画・彫刻・造形などの視覚芸術の展示のみならず、最近では病院の理念を視覚化するなど様々な芸術の力を医療現場に提供している。

時程	14:00~14:50	14:50~16:00
内容	<p>【小学生と保護者】</p> <p>○アーティストの多彩な創造の世界を、映像や作品画像などとともに、子どもたちにも分かりやすく紹介</p> <p>・創造の現場と作品制作</p> <p>・医療環境をより快適な癒しの空間にするホスピタルアートの魅力</p> <p>・アートの創造性を社会に生かすプロデュース力を育む教育</p>	<p>【小学生】</p> <p>○子ども造形ワークショップ: 紙粘土の作品づくり</p> <p>・闘病中の子どもたちに、メッセージを添えてプレゼントする作品づくり</p> <p>近畿大学 文化デザイン学科 有志の学生と一緒に楽しみながら、ホスピタルアートの一端を体験します。</p> <p>※参加する子どもたち自身の記念となる作品づくりのための材料もお持ち帰りいただけます。</p> <p>【保護者】</p> <p>○ともに語らう、分かち合いの午後</p> <p>・母から子に受け渡される命のつながりを表現した作品などで知られ、2人の姉妹の母でもある美術家・森口ゆたかとともに、子育てや、アートがもたらす心の成長などについて分かち合う、心なごむひととき</p>

※内容は、変更されることがあります。